

ピラミーデ（ピラミッド・メソッド）認定園研修会

大阪府狭山市私立大野台保育園訪問記

2014年4月11日

ピラミーデ認定園として公認されるために、総計五回の研修を受けていただきます。そのうち三回は辻井正が訪問させていただき、全職員の先生方が理論と実習の講義を受けるのが、国際的に決められた講習方法です。

以前、アメリカのラリー（メストネック博士）さんと訪問させていただきました。その時は、お茶を頂き園長先生とお話をするだけで、園内を見せていただくチャンスはありませんでした。

今回はゆっくりと園舎を見学させていただきました。

玄関先に子どもたちの作品が飾られていました。

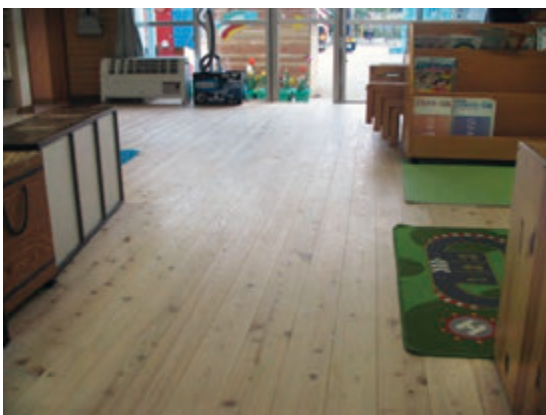


木目が美しい無垢の木材に子どもたちの自筆で書かれ、玄関先に柔らかな雰囲気漂っています。

実は、大野台の保育室の床や壁は、大阪府内のスギとヒノキをふんだんに使って改装された大阪府の「一園一室木のぬくもり推進モデル」園です



保育室の床全体ががヒノキで、ほんとうにぬくもりが感じられます。



子どもたちも、ヒノキ材の床に変わってから、全体に「落ち着きが出てきた」ように思いますと主任先生の話です。



オランダを見つけました。ピラミーデ研修会はオランダとドイツから、専門トレーナーが派遣されて二日間に渡って研修を行います。その時にトレーナーが持ってきてくれたオランダ土産（アムステルダム街並み）が保育園の玄関先に置かれていました。



ピラミーデの研修会は3時間から4時間かかる時もあります。ピラミーデの教育には、一つの哲学的背景があります。それは「自律」Autonomyと呼ばれる、自己選択と自己決定力です。このような話から講義をはじめました。

語義を終えたのは9時過ぎでした。
先生方はお昼のお仕事の後の勉強会です。
ご苦労さんでした

